

第 25 回 刈谷市都市交通協議会 議事概要

- 日 時：令和5年7月10日（月）9:30～11:30
 ■場 所：刈谷市役所 7階大会議室
 ■議 題：
 1. 令和4年度決算及び令和5年度予算について
 2. 刈谷市地域公共交通計画（案）について
 3. デマンド交通の実証実験について



■出席者：

委員号数	所属（役職）	氏 名	出欠
第1号委員	中部大学 工学部 都市建設工学科 教授	磯部 友彦	○
第1号委員	大同大学 工学部 建築学科 土木・環境専攻 准教授	樋口 恵一	○
第2号委員	トヨタ紡織(株) 総務部 総務室長	亀井 隆	○
第2号委員	トヨタ車体(株) 総務部 総務室長	廣鹿 慎一	○
第3号委員	名古屋鉄道(株) 地域連携部 交通サービス担当課長	花村 元気	代理 (夫馬康昌)
第4号委員	(社) 愛知県トラック協会西三支部刈谷部会 部会長	出口 達也	○
第4号委員	愛知県タクシー協会 副会長	横山 宜幸	代理 (横山太朗)
第4号委員	(公) 愛知県バス協会 専務理事	小林 裕之	欠席
第4号委員 兼第5号委員	名鉄バス(株) 運輸本部 主席 交通企画官	大野 淳	○
第6号委員	自治連合会 副会長	亀田 鹿雄	○
第6号委員	女性の会連絡協議会 書記	森口 靖子	○
第6号委員	刈谷商工会議所 専務理事	岡田 行永	○
第6号委員	一般社団法人 刈谷青年会議所 理事長	高橋 正典	欠席
第6号委員	かりや消費者生活学校 運営委員長	作田 美乃利	○
第7号委員	中部運輸局 愛知運輸支局 首席運輸企画専門官	宮川 高彰	○
第8号委員	愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事	永井 隆拓	○
第9号委員	刈谷警察署 交通課長	武田 謙次	○
第10号委員	愛知県 知立建設事務所 企画調整監	河合 敦	○
第10号委員	刈谷市建設部長	齊藤 昭久	○
第11号委員	愛知県 都市・交通局 交通対策課長	山田 浩之	代理 (江崎嘉彦)
第11号委員	愛知県 都市・交通局 都市基盤部 都市計画課長	伊藤 慎悟	代理 (真田和佳)
第12号委員	刈谷市都市政策部長	竹内 健人	○
オブザーバー	国土交通省中部地方整備局建政部都市整備課長	後藤 直紀	○
オブザーバー	刈谷市企画財政部長	村口 文希	欠席
オブザーバー	刈谷市産業環境部長	伊藤 雅人	欠席

(事務局)：都市政策部都市交通課 豊永対策監、近藤課長補佐

都市政策部都市交通課次世代モビリティ推進係 内藤係長、竹林主査、岡田主事、

栗尾技師

都市政策部都市交通課公共交通係 伊藤係長、五明主査、

(事務局補助)：株式会社オオバ名古屋支店 竹内、大矢

■意見概要（発言順）：

議題 1. 令和 4 年度決算及び令和 5 年度予算について

（意見なし）

議題 2. 刈谷市地域公共交通計画（案）について

	主な意見	回答
1	<ul style="list-style-type: none"> ・衣浦定住自立圏の記載はあるが、豊明市の記載がない。豊明市への移動ニーズについて、本計画にどのように反映しているか。【廣鹿委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査と中学校区別意見交換会にて、豊明市への移動ニーズがあることは把握している。【事務局】 ・豊明市との関係は、公共交通ネットワーク図にて、市北部方面に隣接市町連絡路線を追加している。具体の交通施策は今後検討したい。【事務局】 ・現在、隣接市町から刈谷市内の病院に向かうような路線は存在しているが、逆に「かりまる」が隣接市町には向かっていないため、今後は、名鉄バスやタクシー等でカバーすることを検討していく。【磯部会長】
2	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接市町のコミュニティバスの、市民への費用負担の状況及び、かりまるの利用状況を教えてほしい。【亀井委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・P.37 に刈谷市に乗り入れている隣接市町のコミュニティバスの運行体系を整理している。【事務局】 ・かりまるの利用状況は P.36 に整理しており、コロナ禍で約 3 割利用者が減少していたが、徐々に回復傾向が見られ、令和 4 年度は 60 万人程度まで回復している。これらの背景を踏まえ、P.71 に目標 1 施策③として「「かりまる」の充実・再編・運行体系の見直し」を記載しており、今後は有料化を含めた検討を予定している。【事務局】
3	<ul style="list-style-type: none"> ・非常によく分析し計画頂いており、弊社のバス路線についても幹線として位置づけていただき、路線の維持・充実や、バス停留所の駐輪場の整備等、バスを使っただけのような施策となっていると思う。【大野委員】 ・他市町へ路線バスを乗り入れる件については、区域外運行となるため、刈谷市と十分に情報共有しながら検討を進めていきたい。【大野委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な幹線バス路線と認識している。市北部のバス路線再編にあたっては、随時調整させていただきながら進めていきたい。【事務局】
4	<ul style="list-style-type: none"> ・P.77 に目標 3 施策②として「企業通勤者の公共交通の利用促進」の記載がある。企業送迎バスも考え方によって公共交通として捉えられるため、マイカー以外の通勤手段として今後促進していきたい。【磯部会長】 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・P78 目標 3 施策⑤「バスやタクシーの乗務員確保」についても、刈谷市と交通事業者が協力しながら推進する必要がある。【磯部会長】 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・P77 目標 3 施策①「市民・交通事業者と共に創る公共交通の実現」について、市民とこれからどのように関わりながら、今後の公共交通を作っていくと良いのか、考えていきたい。より使いやすい公共交通を目指すためには、市民の皆様が楽しみを得るためにバスに乗るようになる仕組みを作れると良い。【樋口副会長】 	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・「かりまる」を将来的に貨物輸送に活用いただけませんかご検討いただきたい。ドライバーの確保が今後も難しくなる見通しの中で、バスに関しても貨客混載を検討いただきたい。【出口委員】 ・トラックドライバーの確保が今後難しくなる見通しの中で、将来的に「かりまる」などバスに関しての貨客混載を検討いただきたい。【出口委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画において、実際のニーズ等の分析ができていないため記載がない。ただ、貨客混載は、目標 2 施策②「共創による付加価値を高めた公共交通サービスの提供」に含まれてくる施策と思われる。物流の観点は都市交通戦略の中で検討しており、今後も引き続きさせていただければと思う。【事務局】 ・買い物交通については、ネットショッピングの普及により、本来住民自身が交通するところを、運送業者が変わって交通していると考えられることのできるため、広い視点で考えていきたい。【磯部会長】
7	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷市の特性を考えると、名鉄三河線が工業地帯を通過するため、貨客混載は刈谷市のニーズに合うと思うが、鉄道事業者としての考えを教えてほしい。【樋口副会長】 	<ul style="list-style-type: none"> ・社内で検討は進めているが、実装に向けてハードルが高い。ドライバーの不足は把握しているため、どのようなことが鉄道事業者として協力できるか模索中である。【夫馬委員】
9	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク等の定着により渋滞が緩和しており、渋滞を考慮する必要がなくなっているようであれば「かりまる」の増発も検討いただきたい。【作田委員】 ・運転中に停止線のかなり前に停車しているタクシーが見られた。ドライバーへの抜き打ちチェックを実施し、どのような運転をしているのかご確認いただいた方が良いのではないかと。【作田委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワークによる渋滞の緩和は、各交通事業者の状況を確認する限り、ちょうど過渡期であると感じている。都市交通戦略の中で渋滞対策を検討しているため、併せて議論していきたい。【事務局】 ・かりまるの利便性向上に向けて、バス路線、便数、ダイヤ等を検討していきたい。【事務局】 ・コロナ禍を経て、バスやタクシーは回復傾向が見られるが、鉄道は横ばいの傾向である。テレワーク等の定着等も考えられるため、状況を注視する。【事務局】 ・刈谷市内の交通状況は、来年度大規模な交通量調査を予定しているため、過年度との比較を行っていきたい。【事務局】 ・バスの利用状況として、バスの遅延状況のデータも蓄積しているため、分析を進め今後の再編を検討する。【事務局】

10	<ul style="list-style-type: none"> 本計画の中間改定の考え方を教えてほしい。【宮川委員】 	<ul style="list-style-type: none"> PDCA サイクルを回していく中で、計画の中間改定も必要に応じて令和 10 年に実施する予定としている。【事務局】
11	<ul style="list-style-type: none"> 運賃収入や市民 1 人あたりの運行経費等も分析いただきながら、「かりまる」の再編を検討して頂けると良い。【宮川委員】 	<ul style="list-style-type: none"> P.44 に現在のかりまるの運行経費を整理しているが、今後の路線再編に向けて詳細な分析を進める。【事務局】

議題 3. デマンド交通の実証実験について

	主な意見	回答
1	<ul style="list-style-type: none"> PDCA サイクルの流れがよくわかる事例であり、全 23 地区の自治会にも事例を展開させていただきたい。【亀田委員】 	
2	<ul style="list-style-type: none"> 配慮が必要な点として、車両特性上の問題で障害者の乗車を断る場合を考慮し、代替サービスについても検討が必要であると思う。【樋口副会長】 料金的な側面で不平感が出ないようにご配慮いただきたい。【樋口副会長】 	<ul style="list-style-type: none"> まずは福祉タクシーの取り組み等について、運行事業者へ情報共有させていただき、併せて利用者の方のご意見も調査できればと思う。【事務局】
3	<ul style="list-style-type: none"> 現況分析として、刈谷愛教大線や愛教大線のデータも併せて検証いただきたい。デマンド交通導入後の弊社路線や「かりまる」への影響を検証いただいた方が良いと思う。【大野委員】 	<ul style="list-style-type: none"> 刈谷愛教大線や愛教大線は幹線路線として、地域間や市外への移動を担う重要な路線と考えているため、データを提供いただき、影響を分析させていただく。【事務局】 デマンド交通利用者の従前の交通手段を調査し、どのような利用転換が起こったのかは捉えていきたい。【事務局】
4	<ul style="list-style-type: none"> チョイソコの仕組みとして、乗車する停留所と目的地までの間に他の予約者が相乗りをする分だけ、目的地までの移動時間が延びるとの認識で良いか。【作田委員】 	<ul style="list-style-type: none"> 乗車停留所から目的地までの間に、他の予約者の乗車停留所が重複する場合、途中で寄って相乗りいただくため、その分の移動時間は延びることとなる。【事務局】
5	<ul style="list-style-type: none"> チョイソコの車両が 1 台しか無いが、他の方が乗車している時間帯は利用できないのか。【作田委員】 	<ul style="list-style-type: none"> 先の予約者が優先されるため、乗車停留所が離れている場合等は予約不成立となる場合はある。【事務局】 予約成立の状況を検証しながら、今後は台数の増便等も検討する。【事務局】
6	<ul style="list-style-type: none"> チョイソコからバスまでの乗り継ぎ利用等、公共交通ネットワークを形成するための検証も必要となる。【宮川委員】 	<ul style="list-style-type: none"> 第 1 期は運行をスタートさせていただき、第 2 期に向けてはバスの乗り継ぎ方法等についても検討を進めていく。【事務局】